

No.2651



教育ルネサンス

高校地学 2

日高

学ぶ育む

俳句では、動物名前を漢字で書いです。漢字の一是意味があり、

まだなれていないのでしよう。あせをかくと、せなかたくついて、よけいにおもくかんじますよね。はだのかんかくをてきかくに詠んで、小学生に共感される句になりました。

に、人の目はむかいがち。でもこの句では、てんとう虫そのものではなく、葉っぱが「きれい」だといっています。つやつやしているのでしょうね。独自の視線を持つ作者に、拍手!

専門外の教員へ「実習帳」

地学を専門とする教員は高校の現場に少ない。一方で、2012年から選択必修科目になった「地学基礎」は、文系を中心に履修する生徒がいるため、物理や化学、生物が専門の理科教員が教えるケースもある。

埼玉県の川口市立高校で5月11日、定時制2年の生徒約25人が地学基礎で「膨張する宇宙」の单元を学んでいた。

「小さい宇宙だけど、全宇宙だと思ってください」

藤森建太郎講師(67)が示したのは5枚のゴムひもに銀河の写真5枚を取り付けた模型だった。生徒らはゴムひもを引っ張る前と後の各銀河間の距離を計測。ゴ



ムひもの伸び率も計算し、宇宙は均等に膨張していることを“実感”していた。

藤森講師が活用したのが「埼玉から地学 地球惑星 科学実習帳」という教材。化学が専門で「地学は分野が多岐にわたり、場数を踏

んだ専門教員でないと、生徒の興味を引く実習アイデアは出でこない。活用させてもらっている」と明かす。

実習帳は県内の地学教員でつくる「埼玉県高等学校理化研究会・地学研究委員会」(埼玉地学)が10年に作成した。09年の学習指導要領改定で「地学基礎」の新設が決まり、「地学を教えるを得なくなる専門外の教員をどう支援するか」という視点で編集に当たった。39の実習を載せ、8回の改訂を重ねてきた。

実習帳の活用は、北海道や神奈川県、岡山県などにも広がる。作成に携わった教諭(56)は「狙い通りの二

都立高のベテラン地学教員は「高齢化した教員の退職後は都立高校から『地学』の授業が消えるかもしれない」と危機感を募らせる。

一方、都教委は「必要があれば募集するが、現場からの要望がない」と説明する。

早稲田大の高木秀雄教授(構造地質学)が18年に全教諭(56)は「狙い通りの二

国4117校の授業の開設

状況を調べたところ、「地学基礎」の43・7%に対し、発展科目の「地学」は8・8%にとどまっていた。たば」とアピールする。

地学の専門教員は理科の他科目と比べて少ない。東京都教育委員会によると、今年度、都立高の理科教員は化学309人、生物299人、物理249人に対して、地学は22人。過去20年間を見ても、地学教員は1人採用した16年度を除き、募集すらしていない。

都立高のベテラン地学教員は「高齢化した教員の退職後は都立高校から『地学』の授業が消えるかもしれない」と危機感を募らせる。

一方、都教委は「必要があれば募集するが、現場から少人数である、地学に興味を持つた生徒のために、教員を確保して学べる環境を整えていきたい」とする。

お応募方法> 所、学校名、学生番号を書いて、(住所不要)読売教育網KODOへ。ファックス(03-メール(kodom miuri.com)でもあります。学校・学級に重ねてください。

*第1、第3水曜日

*ご意見は〒1

投書

渡のめ禁た